

地域別構想：北部地域

目標：みんなの笑顔をついに！
多くの人が集い、賑わう、活気あふれるまちづくり

- 方針1：若者から高齢者まで誰もが住み続けたいと思える環境づくり
- 方針2：インフラ整備の促進による安全性・利便性の向上
- 方針3：既存施設等を活かした交流の場の充実

【都市づくりの方針（主な事項の抜粋）】

地域拠点（日吉台地区）

- 成田市に隣接し、鉄道駅や幹線道路、空港等の交通アクセシビリティを活かした生活利便性の高い拠点を形成します。

交流拠点

- 日吉台中央公園でのイベント開催、日吉台小学校の余裕教室を地域に開放しコミュニティの場として活用、富里北部コミュニティセンターの活用促進など、多様な交流の場や機会の創出に努めます。

住宅地・集落地

- 日吉台地区・日吉倉地区の住宅地では、ゆとりある良好な住環境を保全します。特に、都市的居住空間（成田市中心部に近接する地域）では、首都圏の業務核都市としての役割を担うとともに、高度利用の可能性も含めた適正な開発、誘導を図っていきます。

商業・業務地

- 日吉台地区の商業地については、商業機能の維持・充実に向けた土地利用の誘導を図ります。
- 都市計画道路成田七栄線沿道では、周辺の居住環境との調和を図りつつ、商店会等の地元団体との協働による地域の活性化を図ります。

交通施設

- 都市計画道路成田七栄線の未整備区間については、北新木戸土地区画整理事業の進捗に合わせ事業を進め、日吉台地区と七栄地区のアクセシビリティを高めるため、早期供用を目指します。

地域間交流軸

- 日吉台地区から富里IC周辺のにぎわい拠点間においては、閑静な住宅街と沿道型商業、レクリエーション施設等の機能が集積する利便性の高い軸状空間の形成を進めるとともに、市街化調整区域の区間においても、地域軸としての連続性確保に向け、適切な沿道利用を図ります。

■ 北部地域のまちづくり方針図

